

子どもの やる気を 育てます！

わかくさ

令和4年 2月28日 No.556



目次

- 巻頭言「失敗は成功のもとにする」 1
- 3月の行事予定 1
- 6年生「中学校に向けて」 2

西東京市立谷戸小学校 校長 伊藤 正明

失敗は成功のもとにする

校長 伊藤 正明

北京オリンピック・パラリンピックではウィンタースポーツのトップアスリートたちが、人生のすべてをかけ、命がけて競い合っている姿に感動し、その中で生まれる筋書きのないドラマに心を動かされています。

スピードスケート女子パシュートの決勝では、残り100mまでリードし、金メダルを目前にしていた日本チーム。その時最後尾を担当していた高木菜那選手が、アクシデントで転倒しました。すぐに立ち上がり最後まで滑り切りましたが、惜しくも銀メダルとなりました。試合後にチームメイトが「後半の戦いになる前に、もっとチームにリズムを作ることができたのではないかという思いもある。」「自分にもまだまだできた部分があったのではないかと、ちょっと悔いが残ったレースになってしまった。」と振り返っていました。その場で自己を振り返る姿勢に感動しました。不運や他人の責任にすることは簡単ですが、そこで自分にできたことは何だったのかと振り返る姿勢が、今の世界を競う選手たちの力をつけてきた源であると確信しました。

私たち大人を含め子どもたちは、日常生活を送る中で様々な失敗に出会います。その際の「次に失敗をしないために自分はどうすればよいのか」について、考え調べ受け入れ実行することが成長のカギを握っています。他の子どもとトラブルを起こし、「相手の〇〇が悪い。」と主張し続けているうちはなかなか前に進むことはできません。

学校教育でも家庭教育でも、成功体験をコーディネートすることは、とても大切なことです。反面、失敗から学ぶこともかなり重要な体験です。しかしながら、失敗ばかりだとやる気をなくします。少しの失敗は次の成功につながります。失敗に対しては、振り返りをしつつ、リフレーミングをして心に折り合いをつけ「心を鍛える」ことが大切です。谷戸小学校では、引き続きこの視点で指導を継続します。

3月の行事予定

日	曜	行事	日	曜	行事
1	火	6年生を送る会 安全指導 みどりの募金	16	水	卒業遠足(6年) 1~5年B時程5時間授業
2	水	B時程5時間授業 みどりの募金	17	木	世界ともだちプロジェクト(6年)
3	木	保護者会12年 みどりの募金	18	金	民具体験(2年)
4	金		19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	春分の日
7	月	保護者会34年 10才を祝う会(4年13:30)	22	火	5時間授業
8	火	保護者会56年	23	水	給食終 大掃除 4時間授業
9	水	B時程5時間授業	24	木	修了式(1~4年10:20下校 56年 卒業式予行 12:15下校)
10	木	避難訓練	25	金	卒業式(6年のみ)
11	金		26	土	春季休業日始
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月	卒業式準備(5年6校時)	29	火	
15	火		30	水	
			31	木	

3月の生活目標 「使ったものの後始末をきちんとしよう」

○スクールカウンセラーの安田先生の来校日は3月3日(木)、10日(木)です。

6年生「中学校に向けて」

3月を迎え、子どもたちは6年間の小学校生活を終えようとしています。2度のオンライン学習期間や学校行事の特別な開催の仕方など、社会の情勢に合わせて、活動計画を組み立て直すことが多い1年間でした。そのような環境の中で友達と話したり遊んだりできる日常の喜び、学年や学級で協力し合いながら高い目標を達成する喜びを感じることでできる心豊かな子どもたちの成長を誇りに思います。

オンライン授業を受けてみて、対面授業の素晴らしさを実感した。オンライン授業だと、友達に会えないことや給食が食べられないことなど、寂しい・悲しい日々が続いた。そのため、今までの当たり前の偉大さを感じた。

これから私は、いつもの当たり前を忘れずに、感謝しながら過ごしていきたい。



ひばりが丘中学校出前授業（数学）

僕は、中学生になっても「あいさつ」と「交流」を、自分からしゃべったことのない人に積極的にやっていきたいと思います。また、自分に余裕ができたなら、「字をきれいに」したいと思いました。

六年間ありがとうございました。

僕は、この六年間で、人との関わりをもつこと、また、新しい場所で友達を作ることがんばった。

これから先も、どのような状況でも人との関わりを大切に、そして苦手な人がいても、うまく付き合うことを意識して生きていこうと思う。



卒業コンサート風景

これから中学校へと進んでいっても、課題というのは日々あると思う。その時に、この六年間で学んできた「頑張って乗り越える」ということを思い出し、それを意識して日々を過ごしていきたい。

五年生、六年生はコロナウイルスに大きく影響された二年間でした。そんなとき、いつも友達は私を支えてくれました。

友達とはたくさんの思い出ができました。大人になってもこの思い出は忘れないと思います。学校をはなれる友達もいますが、変わらずこの関係を続けたいです。



ひばりが丘中学校出前授業（体育）